

市民のみなさまへ（市名議論についての議長メッセージ）

今年の2月以降、市名検討に対する関心が高まってきています。様々な会合、日常生活の中での会話、またインターネット上でこの問題が話題にされるようにもなりました。私は、このまちの問題について多くの皆さんが考えていただいていることを嬉しく思っています。一方、その議論や会話の中に誤解があるのではないかと、また誤解や価値観の違いから対立が生じてしまうのではないかと心配もしています。

市議会は、要望団体の指摘を受けてこの問題を「丹波ブランドと市名について」として調査を行ってきました。限られた時間ではありましたが、5回の会議と9回の市民との意見交換を重ねて問題の整理を行ったところです。その調査から見えてきたのは、この問題は、単にブランドの問題ではないこと、そして「丹波」というよりも「丹波篠山」の問題が大きいだろうということです。

（丹波ブランドについて）

まず、一部のメディア等が今回の検討を「丹波ブランドの取り合い」のような話にされることがありますが、要望者も含め調査をしたすべての方が「丹波」は兵庫と京都にまたがる丹波地域の共有財産であると認識されていました。また、様々な統計データを調べた結果、「丹波」を自治体名に冠した市町が篠山に経済的不利益を与えているとする有意な数字は得られませんでした。市議会としては、「丹波」ブランドは丹波地域7市町の共有財産であり、それぞれが有効に活用しながら、大丹波連携などで互いに協力してその価値をさらに高めていくことが重要と考えます。

篠山の歴史を紐解くと、四方山に囲まれたこの地域は決して豊かな地ではありませんでした。近世篠山藩が苦しい運営を余儀なくされる中、農民たちは豪農（地主）の指導の下名産品確立に汗を流してきました。名産品の栽培技術向上だけでなく、工芸品や酒造り技術を磨くことで暮らしの改善に努められてきました。そして遠近からの評価も得てきました。例えば、「丹波黒」が全国的な黒豆の品種になって各地で栽培されているのは、当時その種と技術を求めてたくさんの人々がこの地を訪れたことを示しています。このため、市民の多くがこれらの分野で丹波をリードしてきたのは「丹波篠山」であるとの自負をもたれています。

（「丹波篠山」と「篠山」に対する誇りと愛着）

今回の市名議論の本質の一つ目はここにあり、「丹波」の混乱や誤解が「丹波篠山」のプライドを傷つけているということです。ただ、市民それぞれに「丹波篠山」に対する思

い入れには差があり、篠山を選んで居を構えられた方や篠山市制以降に誕生した子どもたちも多くあり「篠山」のほうに愛着を持たれている皆さんがいらっしゃるのも当然です。この論点について議論することを否定するものではありませんが、名前に対する誇りや愛着は心の問題でありますのでどうかお互いの思いを尊重してください。

(市民共通の財産「丹波篠山」)

私が市民の皆さんに是非考えていただきたいのは、もう一つの議論の本質です。それは、混乱や誤解が「丹波篠山」という市民共通の財産を脅かしているのではないかと、そして「丹波篠山」という財産を守りさらに育てるためにどうするのかということなのです。

近年、地名の持つ知的財産価値が大きく認識されるようになってきました。今治タオルや夕張メロンなど地名のもつブランド力を多くの方が理解しています。「丹波篠山」も高いブランド力をもっており、市内で生産される商品やサービスの多くにそれが付与されています。

しかし昨年、特産物の原産地表示に使用していた「丹波篠山産」が適切でないとの行政指導がなされる事案が発生しました。これは、「丹波篠山」が篠山を指す「地名」でなくなりつつある事例であるとの指摘があります。この指導は農産物に対してのものでしたが、「丹波篠山」は農産物の価値を表す言葉にとどまりません。

一昨年、デカンショ節に謡われた「丹波篠山」という暮らし方が評価され日本遺産に認定されました。これにより「丹波篠山」は、私たちの暮らし方をあらわすプラスイメージの言葉にもなりました。「丹波篠山」は、価値を高めつつあり、将来の子どもたちへの恩恵が期待されます。このため広く混乱や誤解の影響に留意する必要があります。

私は、今回の市名変更の声は、知的な共有財産「丹波篠山」を守り育てるための一つの提案であると受け止めています。将来のことを考えると、一人一人に多少の負担があっても市名変更が必要なのか、篠山市として別の策を講じて「丹波篠山」を守り育てるほうがいいのか、是非皆さんもこの点について考えていただきたいと思います。

そして、この市名変更の検討が、他者を批判したり中傷したりすることなく、皆でこのまちの将来について考える機会となり、よりよいまちづくりに結び付くことを願います。

平成 29 年 6 月 26 日

篠山市議会議長 渡辺拓道